もぞか

盆地のミニ情報

７月号

編集・発行
熊日多良木販売センター
㈹小出堅太郎　小出忠紹
石田敏郎　尾前竜二　那須信一
球磨郡多良木町大字多良木 356-1
TEL ４２－３３５５
FAX ４９－１７２６
http://www.taragi.com/
当社のホームページ・ブログをご覧下さい

いつまでも続くよ　友好の輪

昭和３８年頃から毎月続く同級会が、今月の１８日に多良木町の新辰巳で行われました。これは多良木中学校昭和２８年度卒業生１５名によって結成されており、卒業年度にちなんで名付けられた「二八会（会長：中村信弘さん＝多良木町久米）」の同級会です。４クラス約２００名の同級生のうち、当初７名で始まりましたが、最盛期には２１名おられたそうです。現在も多良木町内はもちろん、あさぎり町や人吉市から駆け付けられます。１０年ほど前までは、各会員の自宅を持ち回りで開催されていましたが、お料理などを準備する奥様の負担が大きいことから、最近は飲食店で行っているそうです。

また、毎年９月～１０月頃には県内を中心に、旅行を楽しまれています。親・兄弟・家族にも話せないことも、同級生ならば話せることもあるそうで、皆で一生懸命になって解決しようとするのも、この会の魅力とか。会員の濱田慎二さんは「年齢を取るにつれて、互いを励まし、元気づけて長生きしようというのが、この会の一番の目的です」と話されていました。現在７５～７６歳になられる皆さんですが、益々お元気に、また仲良くしていかれることでしょう。

岡原小の６年生、老人会と最後の想い出に

岡原老人会（会長：立本友七郎）と岡原小学校６年生との交流グラウンドゴルフ大会が、７月２２日に同校グランドでありました。今年で６回目を迎えた大会には５・６年生の２７名が参加して会場を盛り上げました。参加した鶴本将士君は「力の入れ具合や打つ方向など、どのようにやるかわからなかったけど、老人会の皆さんが詳しく教えて下さったので良かったです。結果も１回目よりも２回目のほうがスコアーも良くて楽しかったです」と嬉しそうでした。また優勝した後藤大慧君は「優勝するとは思ってなかったので良かったです。次は（少年野球クラブチームの）ベアーズで優勝に貢献できるように頑張りたいです」と笑いながら話してくれました。

優　勝：後藤 大慧 君
準優勝：河原　陸 君
３　位：永石 敬大 君

ラフティングは怖かったけど楽しかった

多良木町・南幌町（北海道）姉妹町児童交流学習事業が「両町の交流を図ることにより、お互いの歴史・文化・産業等の経験・知識を深めるとともに、郷土の理解を深め、心豊かでたくましい児童の成長と今後の友好交流を図る目的」で７月25日（金）から３泊４日の日程で行われました。２日目の２６日（土）は宿泊地のブルートレインたらぎを出発し、球磨川でラフティングを体験した後、休校中の宮ヶ野小学校で、多良木高校野球部員がセッティングしてくれた、バーベキューやそうめん流しを楽しみました。参加した黒肥地小学校の久保田尊君は「ラフティングは怖かったけど楽しかった」また同小学校の森安晃大君は「大きな岩からのジャンプは超怖かった」と少し疲れ気味に話してくれました。

木希記

◆７月としては大型と予報が出た台風８号。多良木町役場はじめ県下各地の自治体は緊急避難所を開設するなど対応に追われました。結果的にこれといった被害もなく一安心でしたね◆肩透しを食らったと不満を言う声もないことはなかったようです。でも、予報はあくまで予報に過ぎませんから、予想されたコースや規模が外れてくれたのは、むしろラッキーと考えるのが正解かも◆熊本市の知人からは「県南部地域の降り方に比べたら、今年の梅雨期はたたき付けるような降りはほとんどなかった。さりとて、しとしと降りでもない。今後の水不足が心配」との電話もありました◆いよいよ長い夏休みが始まります。子どもたちの水の事故が心配になる季節でもあります。注意はし過ぎるくらい払っておきたいもの。遊びに出る子どもから、うるさがられても声かけをお忘れなく◆何やら台風の予報はずれと同じような調子になりました。ごく当たり前のことですが、油断するのが一番怖いわけです。今後予想される台風にも、皆さん備えを怠りなく。（Ｘ）

たらぎ文化財カルタ vol.15

「鮎の瀬溝」（町指定）　　黒肥地　溝の口

球磨川沿いの字蓮花寺の上流部に、鮎の瀬溝の取り入れ口があります。この付近を「溝の口」といっています。歴史の古さを感じさせる所ですが、ここには凝灰岩の石碑が建ち「鮎之瀬井手碑」「永仁三年五月・領主相良頼宗」とあります。永仁３年（1295）上相良３代頼宗によって開削されたという灌漑用水路の碑文ですが、溝はその頃以来使われてきて今に至っております。現在の灌漑面積は 33ha で、利用組合員 83 名があります。また、この用水路組合には井堰など補修のための木材補給山林が付属しておりますが、歴史的にもいかにも大切な井堰と灌漑用水路であるように思われます。

産業現場等における実習・校内実習（職場見学）に取り組みました！

～御協力いただきました障がい者支援施設や事業所の皆様お世話になりました～

高等部２・３年生が産業現場等における実習に取り組みました。期間は、6月１６日(月)から２７日（金）までの１０日間（土・日を除く）で、２６箇所の障がい者支援施設や事業所で実習しました。梅雨の最中で、いつものことながら天気予報を気にしながらの実習でしたが、実習先も同じ思いでおられたようで、通勤や仕事において様々な配慮をしていただきました。中には、バス停まで送ってもらったところもありました。本当に感謝の気持ちで一杯です。今後は、評価していただいたことを、学校の様々な教育活動や一人一人の進路決定に活かしていきたいと思います。本当にありがとうございました。

高等部１年生は、今回は校内実習や職場見学をしました。１１月には、産業現場等における実習に出ますので、その事前の学習になりました。仕事の提供や職場見学をさせていただいた、事業所や障がい者支援施設の皆様、本当にありがとうございました。

このような産業現場等における実習や職場見学は、高等部卒業後の進路を考えたり、働く力をつけたりする機会として、大切にしている活動です。今後も、感謝の気持ちを忘れず、卒業後の生活に必要な力が身につくよう努力していきたいと思います。

（原稿・写真提供：球磨支援学校）

全国大会出場おめでとう

「日清食品カップ」第３０回全国小学生陸上競技交流大会・熊本県予選で、岡原小６年別府理保さん（あさぎり Jr）が、８０メートルハードルの部で見事優勝され、８月に行われる全国大会（横浜市・日産スタジアム）に出場されます。県予選決勝では、スタートこそ出遅れたものの、もちまえの脚力とハードリングが冴え全国への切符を手にされました。「緊張して遅れたけど、優勝できて嬉しい」と別府さん。姉の明佳さん（あさぎり中３年）も県大会３種目優勝の実力者。普段よりお姉さんの活躍に刺激を受け、週４回の練習にも熱が入るそうです。「全国大会では自己ベストが出る様練習して、まずは決勝に残れるようがんばります」と力強く抱負を語ってくれました。全国大会での活躍を期待します。

園児紹介　光台寺保育園

年長児　ひまわり組　２０名
担任　川畑 真紀 先生

毎日のプール遊びを楽しんでいます♪
９月の運動会に向けて、幼年消防の規律訓練の練習を頑張っています！皆さん観に来てね。

多良木警察署だより

夏休み期間中の交通事故防止に努めましょう

夏休み時期となり、家族や友人と外出する機会が増加すると思います。

交通事故防止を心がけ、楽しい夏休みにしましょう♪

1　長距離を運転する時は、早めの休憩を心がけましょう！！

2　心と体にゆとりを持ち、安全運転を心がけましょう！！

（原稿提供：多良木警察署）